

### 新予防 給付について

今年の4月で介護保険も5年が経過し制度改正が行われました。新聞・テレビ等でも報道されていたように、医療現場では予防医学が叫ばれている現在、介護保険の世界でも介護予防という言葉を前面に出した「新予防給付」がスタートしました。

これまで、要支援から要介護1～5の6段階であった要介護認定を要支援1・2と要介護1～5の7段階としていきます。

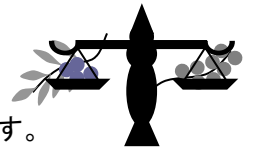
『要介護1～5と認定された人』日常生活で介護を必要とする度合いが高い人は、生活の維持・改善を目的に従来どおりの介護サービスが受けられます。『要支援1・2と認定された人』からだや生活の機能が落ちてしまったり、介護状態

が悪化しないよう予防の観点から介護予防サービスを受けられます。

介護予防サービスの利用にあたっては、これまでの「居宅サービス計画」と同様の「介護予防サービス計画」の作成が必要です。この業務は制度改正で市に新設された「地域包括支援センター」(または地域包括支援センター)が委託した居宅介護支援事業所が利用者と契約を締結して行うことになっています。(計画の作成には利用者負担はありません) 介護予防サービス計画の作成ができれば回数などに制限はつきませんが従



### 漢方入門 ⑳



今回は夏バテ(暑気あたり)の漢方についてご紹介させていただきます。

夏バテは漢方では「注夏病(チュウカビョウ)」と呼ばれ、古くから注目されてきました。日本は高温多湿なうえ、気温が30度を超える盛夏では蒸し暑い夜が続きます。寝苦しい夜が続くと睡眠不足になり、夏のあいだ発汗と過剰な水分補給を繰り返すことにより初秋のころになっても食欲がでない、疲れやすい、やる気がないといった多彩な症状がでてきます。

このようなとき、漢方では、胃腸の働きを丈夫にして体力を補う補剤が使われます。補剤には滋養強壯の生薬である人參が配合されており、代表的な処方に補中益気湯(ホチュウエキトウ)、清暑益気湯(セイショエキトウ)があります。補中益気湯は冷たいものを飲みすぎ、胃腸が冷えて夏バテするようなタイプに、清暑益気湯は夏の炎天下の中での仕事で、身体に熱がこもって夏バテするようなタイプに用います。食欲不振が強ければ六君子湯(リククシトウ)も使います。

まだまだ暑い日が続きますが、夏バテの症状でお悩みの患者様がおられましたらご相談ください。

来どおりのサービスが受けられます。ここではわずかなことしか説明できておりませんが、新予防給付では色々な事業がスタートしています。新予防給付について、介護に関する疑問・相談等は、お気軽に当院スタッフにお声をかけて下さい。(介護支援専門員 細島成氏)

### — ジェネリック医薬品とは? —

最近、ニュースやテレビCMなどで耳にすることが多くなった「ジェネリック医薬品」とは、どういったお薬でしょうか?

「ジェネリック医薬品」は「後発医薬品」とも呼ばれ、新薬の特許期間(20～25年)終了後に製造・販売される化学的に同じ成分の医薬品です。開発費や宣伝費が少なくすむため、より安価で提供できます。

先に開発・製造・販売された先発医薬品とジェネリック医薬品の薬価(お薬の価格)の差が大きいほど、負担金額の差も大きくなります。

ジェネリック医薬品を使うかどうかは、患者さまの意見が尊重されます。希望される方は、医院または薬局でご相談下さい。



## 曾山医院

胃腸科・外科・内科・肛門科

☎656-2131 兵庫県淡路市志筑1391-9 ☎0799-62-5566

### 編集委員会

岡崎博子 背野有加里  
 荷出真巳 赤松陽子  
 西岡博子 細島成氏  
 (協力) ビーシー・クリック